

COCニュースレター

新座市をキャンパスに！+（プラス）となる人づくり、街づくり

Vol.13 H30.2.13発行

十文字学園女子大学
地域連携推進機構(COCセンター)

研究活動報告

本学で取り組んでいる研究についてお話をうかがいました

研究①

キーワードは…

糖尿病

食事・運動

生活習慣病などの疾病と食事・運動との関連についての検討

◇代表者: 松本晃裕(食物栄養学科教授)

◇プロジェクト構成員: 岡本節子(食物栄養学科准教授)、和田安代(食物栄養学科講師)、
福田平(国際栄養食文化健康研究所研究員)、目黒美葉(同研究所研究員)

患者へのアドバイスを今後に活かして

都内の病院と連携して、高齢の糖尿病患者を対象に食事や運動習慣についての調査を進めています。食事の面では、エネルギー摂取量や栄養バランス、野菜の量について聞き取りを行い、改善点を伝えます。また、特別な機械を使用して体重、筋肉量、体脂肪等を測定、身体の状態を把握して、食事調査と絡めながらアドバイスをします。これらを調査し、分析を進めることで、手足の衰えに伴う筋力低下や、糖尿病による脳卒中等の併発を防ぐ研究にも繋げています。今後はデータを増やしながらか更に研究を進めていくとともに、学生の研究や活動に活かしていくことも考えています。



患者に献立をアドバイスすることも

研究②

キーワードは…

野火止用水
自然環境

ふるさとの緑と野火止用水を育むプロジェクト

◇代表者: 星野敦子(児童教育学科教授)

◇プロジェクト構成員: 松岡敬明(児童教育学科教授)、星野祐子(文芸文化学科准教授)、
名塚清(COCセンター)、新座市生涯学習スポーツ課、ボランティア団体『川爺』

新座市の自然を、守る、広める



用水沿いのアジサイ等の強剪定
作業を行う学生

大学、市民、行政が連携し、新座市にある野火止用水や雑木林の保全活動に取り組む団体として、平成26年に「ふるさとの緑と野火止用水を育む会(HUGネット)」を設立しました。野火止用水沿いの樹木の植生調査を行い、樹木マップを作成し、樹木プレートを小学生と一緒に設置するとともに、外来種の除去などの環境保全活動を継続しています。今後はホタルを放流する計画です。

また、子どもたちに地域環境と我が国の伝統を伝えていくために、雑木林観察と「炭焼き体験」や「竹細工」などを組み合わせた自然体験学習会を開催したり、子どもが描いた「ふるさとと野火止用水」の風景画を用水沿いに展示するなど、地域と市民を結びつける活動も積極的に行っています。

これらの活動を通して、学生たちは、地域の自然環境保全や伝統行事の継承について学ぶとともに、実践力やコミュニケーション能力の向上を図っています。

2/24(土)

地域連携フォーラムを開催します！

当日は共愛学園前橋国際大学の森昭生学長による基調講演のほか、本学のCOC事業や地域連携共同研究所の研究テーマについて、教員と学生が成果発表を行います。また、連携する行政や地域団体の方からも各活動への要望等を発表していただきます。

“これまで”の本学の活動を踏まえ、“これから”の地域連携について考える機会にしたいと思います。たくさんのご参加をお待ちしています！

♪プログラム♪

▼開会挨拶

学長/地域連携推進機構 機構長 志村 二三夫

▼市長挨拶

新座市長 並木 傑氏

▼第1部 基調講演

「地学一体で取り組むCOC事業の成果と課題
～共愛学園前橋国際大学の事例から～」
共愛学園前橋国際大学 学長 大森 昭生氏

▼第2部 成果発表

<事例報告>

- ・人間発達心理学科教授 布施 晴美
- ・人間福祉学科准教授 山口 由美
- ・幼児教育学科准教授 鈴木 康弘
- ・人間福祉学科准教授 野島 靖子
- ・食物栄養学科教授 小林 三智子
- ・メディアコミュニケーション学科准教授 棚谷 祐一
- ・人間福祉学科講師 久保田 葉子/児童教育学科1年生(5名)

モデレーター：地域連携推進機構 機構長代理 星野 敦子
<講評> 大森 昭生氏



♪日時・会場：2月24日(土)14:00～17:00(開場13:30～) ふるさと新座館ホール

♪申込み・問い合わせ：十文字学園女子大学 地域連携推進課

TEL:048-477-0958(直通) ※受付は平日9:00～17:00

♪専用メールフォームからも申込み可能 <http://www.jumonji-u.ac.jp/coc/>

大学のグラウンドで凧揚げを体験

12月27日(水)に、本学で凧作り・凧揚げイベントが開催されました。「学童保育における子どもの安全安心の確保と健全な育成を図るための取り組み」(代表：布施晴美教授)をテーマに取り組んでおり、今回のイベントには、約60名の学童保育の子どもたちが参加。広いグラウンドのスペースを使って、自分で絵付け・組み立てをしたオリジナルの凧を揚げながら元気に駆け回りました。

本学の学生は事前の準備から取り組み、当日もスタッフとして大活躍。子どもたちをサポートしながら一緒に凧揚げを楽しみました。



上手に凧が揚がって子どもたちも大喜び

子どもの自由な表現に寄り添う～造形を通した子育て

1月25日(木)に、子育て講座「はらっぱ」が十文字女子大附属幼稚園で開催されました。今年度の最後の回は、「子どもの感性と造形表現」をテーマに、幼児教育学科の宮野周准教授が講師を務めました。

前半の講演では、子どもが周りの世界を「感じる」行為と「表す」行為の過程を豊かにすることの大切さを話しました。後半は参加者が50色のクレパスを使って『はらべこあおむし』の線画に好きな色を塗り、自由な造形表現を親子一緒に楽しみました。



「子どもの表現を通して、子どもの視点に気付くこともあります」と宮野講師

編集後記

例年にも増して今年の冬は寒いですが、元気に走る学生や子どもたちの姿を見て、負けれない、と凧を揚げた編集部でした。楽しかったです！

